令和７年10月

吉延の自然・棚田の原風景を将来につなぐ集落営農をめざして

【類　　型】 水稲作業受託 ＋ 都市との交流

【組　織　名】吉延（よしのぶ）営農組合
（平成19年１月設立）
【所　　在】高知県長岡郡本山町吉延596
【農業地域類型】山間農業地域
【構成戸数・人数】23戸

吉延の棚田

【経営規模（令和６年度実績）】
共同利用＋作業受託作業

・播種	7,735枚	・畦塗り	16. 0ha
・田植え	7. 80ha	・防除(延べ)	47. 79ha
・収穫	4. 08ha	・乾燥調製	17. 90ha
・籾摺り	2,280袋	・色彩選別機	2,144袋

田んぼアート

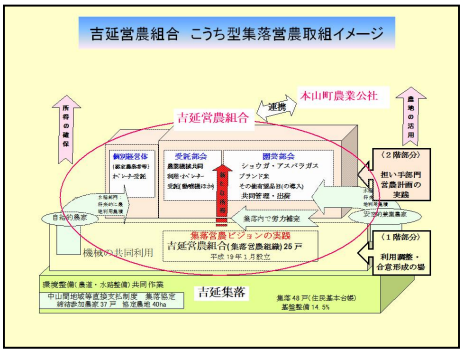
設立の経緯

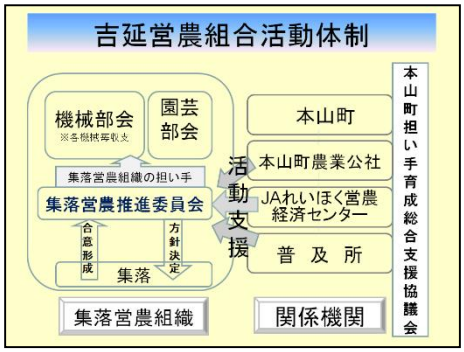
○平成12年～　中山間地域等直接支払制度に取組む
○平成17年　中山間地域等直接支払制度第２期対策から機械の共同購入・利用を開始、集落営農についての検討を開始
○平成18年　集落営農に関する農家意向調査、視察研修を実施
○平成19年１月　吉延営農組合設立
○平成20年６月　こうち型集落営農モデル育成事業に認定

取組の特徴・効果

○中山間地域直接支払制度の取組みから、水稲農家が集まり組織化した組織であり、水稲の作業受託を中心に活動している。
○本山町ではブランド米「土佐天空の郷」の生産を推進しており、組織の機械や作業受託の活用が水稲農家の助けとなっている。
○農地のほとんどが棚田。ブランド米のPRや地域活性化のため「棚田アート」「棚田散策」「棚田コンサート」「棚田キャンドル」などのイベント開催や展望台や休憩所、直販所を設置し、地域内外との交流促進に取り組む。
○鳥獣害対策として周辺集落と連携して防護柵を設置した。
○令和４年度からは町域で取り組む農村RMO「本山町農村みらい会議」の一翼を担うとともに棚田でのスマート農業(農業用ドローン、情報通信技術(ICT))による遠隔水路管理等）の活用に着手。
○令和７年度は、除草作業の省力化としてセンチピードグラスの吹きつけを実施。

【具体的な取組内容】





鳥獣害防護柵設置

ドローン防除による省力化

棚田コンサートでの交流活動

【主な機械・施設】

（令和6年12月現在）

機械・施設名	能力	台数	機械・施設名	能力	台数
トラクター	25ps	1台	米選機	中古	1台
ハロー（代掻き機）		1台	乾燥機（共同1、持込9）	20石	10基
ｸｲｯｸﾚﾍﾞﾗ（自動均平機）	33.5cc	3台	籾摺機		1台
田植機	乗用4条	2台	色彩選別機、ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ	2.2kw相当	1台
コンバイン	中古2条	1台	選別計量機		1台
コンバイン	中古3条	1台	ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾞｯｸﾞﾌﾟﾛｽﾀｰ（4袋）		20台
ﾌﾞﾛｰﾄﾞｷｬｽﾀｰ（ﾘﾓｺﾝ）	300L	1台	精米機（コイン）	30kg/15min	1台
温湯消毒機		1台	ﾛｰﾙﾍﾞｰﾗｰ、ﾗｯﾋﾟﾝｸﾞﾏｼﾝ	自走6.7ps、2.2ps	1台
脱水機		1台	フレールモア		1台
播種機	300箱/h	1台	除草剤施用機（田植機装着）		3台
播種機	600箱/h	1台	カルタン（除草機）		1台
もみクリーナー		1台	農業用ドローン一式	液剤8L,粒剤10kg	1台
動力噴霧機	4.7ps	2台	ライスセンター	中古98㎡	1棟
フォークリフト	2t	1台			

【課題・今後の取組】

○後継者世代の新規就農促進などによる次世代の担い手確保・育成
○共同利用機械の更新・拡大
○鳥獣害対策に継続的に取り組める、物・人両面での体制整備
○優良農地の維持に向け、中山間地域等直接支払制度等の取組を支援
○生産コスト低減と効率化、作業安全性向上につながる機械・施設の共同利用、農道・圃場整備、棚田に応じたスマート農業の活用
○６次産業化・地域の農産物の加工・販売・交流活動
○都市や集落外との交流